

目からウロコの「金城幼稚園」での研修(11/26~29・12/2)

本研究所では、「園内施設、環境構成を見学し、幼稚園教育について理解を深め教員としての指導力の向上と今後の保育実践に役立てる。」をねらいとし、幼稚園長期教育研究員の研修の一貫として、那覇市立金城幼稚園での実地研修を行っています。後期は、11/26~29・12/2の日程で、行いました。

また、幼小中の連携の視点から、小中学校の長期教育研究員は12月2日に同園での研修を行いました。幼児が遊びに夢中になる姿、職員の共通理解のによる意図的な環境構成等多くの示唆をいただきました。

下記は、長期教育研究員の感想です。

実地研修を終えて(幼稚園教育研究員)

○(金城幼稚園)園長講話では、黒木園長先生が幼稚園に毎日足を運んで実態を捉えたり、主任との話し合いや幼稚園で感じたことを小学校の職員に伝えるなど、園長先生が幼稚園と小学校の橋渡し役になっていることや教師としての心構えを学ばせて頂きました。

村吉先生との話し合いでは、研究テーマの内容と金城幼稚園との実践から見えてきたことをもとに、キーポイントをしっかりと押さえることの大事さを学びました。この5日間、金城幼稚園で子どもたちが主体になってのびのびと遊ぶ環境から、研究に生かしたいことや自分の課題も見えてきました。このような貴重な体験をさせて頂き、ありがとうございました。(仲本留美子)

○金城幼稚園の実習から、幼稚園要領といつも照らし合わせて、今、子どもの中に何が育とうとするのかを教師は見取ることの大事さを学びました。子どもが作りたい、実現したいと思う気持ちに合う環境構成と援助が子どもの育ちに大きく影響していることを実習の中で、いつも感じました。

金城幼稚園の子ども達がじっくり遊びに取り組んでいる姿は、村吉先生が「なぜそれをするのか」子どもにとっての意味を教師間で共通理解して実践につなげているからだと感じました。

今回の実習で、自分の幼稚園でも教師間で話し合い、子どもにとっての過ごしやすい園を考えていきたいと思いました。(仲村小百合)

○私は、5月に2日間、今回3日間の実施研修でした。金城幼稚園の園児達は、元気があり、個々それぞれの遊びが充実していて、参観している私までとても楽しい気分になりました。しかし、その反面、私の幼稚園の子どもたちの遊びや環境構成は充実しているか? 主体的に活動しているか?など、考えさせられる部分がたくさんありました。

また、村吉先生との話し合いでは、園長先生との連携、行事の在り方、そして、週案作成の大切さ、職員間での共通理解など、たくさんの事を学ばせて頂きました。金城幼稚園での研修は、私自身の保育等を見直すよい機会となりました。

この研修で学んだ事を今後、生かしていけるよう頑張ります。このような貴重な体験をさせて頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。ほんとうにありがとうございました。(我喜屋なおみ)

研修を終えて(小・中学校教育研究員)

○「金城幼稚園の見学」は、とにかく、感動することが多くありました。園児の豊かな発想、優しい一言に、笑顔がたくさんもらった研修でした。

また、村吉先生だけでなく、全職員が穏やかに園児を見守りつつ、細やかに支援していたチームワークに感動しました。

思い思いに遊ぶ園児が、遊びの過程で創意工夫し、学びの芽をはぐくんでいたことが印象的でした。村吉先生のお話から、幼小中連携の大切さを学びました。大変貴重な時間でした。

(垣花奈留美)

○子ども達がのびのびと遊びに夢中になっていた姿がとても印象に残りました。

また、村吉先生のお話から、子どもの目線や気持ちを大切にしたい取り組み、また環境一つ一つに、しっかりと教師の思いや意図があることを感じました。

職員室に掲示された“チラッと見たことを共有する”という言葉が指すように、先生方の共通理解、共通実践が日頃の保育を支えているのだと感じました。

幼小連携に向け、幼稚園と小学校と一緒に課題解決していけるようにしていきたいです。

(饒平名陽子)



写真1 保育見学の様子



写真2 金城幼稚園の園庭の様子